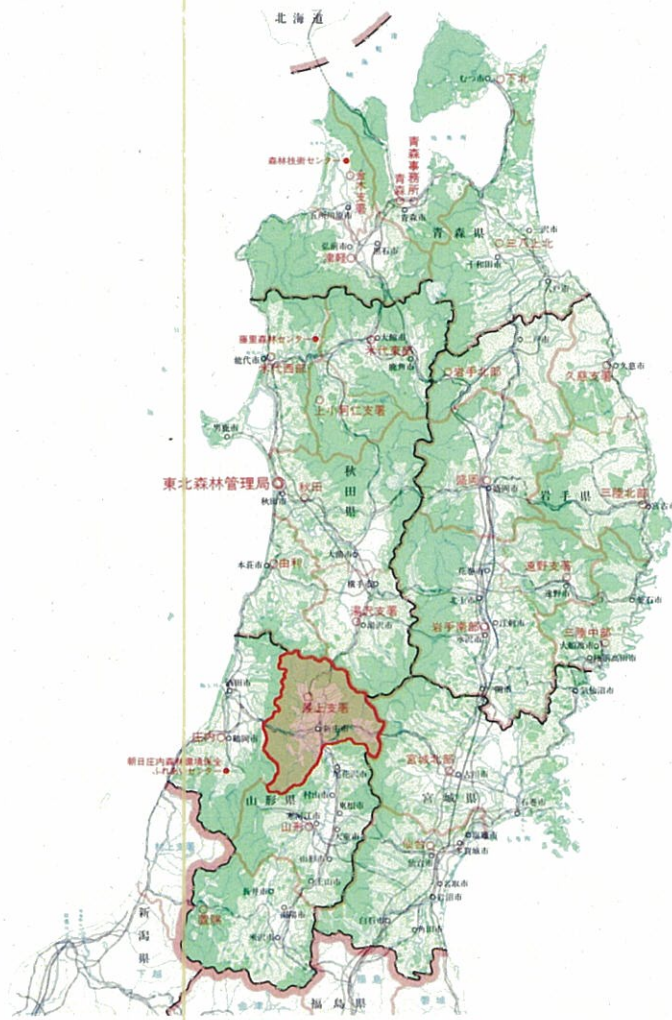


山形森林管理署最上支署



最上支署の位置



夏の最上川



ひじおり
肘折のブナ林

最上支署の概要

◆ 森林計画区の特徴

最上地方は、山形県の北東部に位置する森林の豊かな地域で、古くから木材利用が盛んです。また、良好な自然環境も色濃く残しており、希少猛禽類であるクマタカなど多様な野生生物も生息しています。

区分	面積 ha	比率%
区域面積	180,362	
うち森林	141,356	78
民有林	34,977	25
国有林	106,379	75



クマタカ

◆ 管内国有林の特徴

国有林は管内の森林の75%を占めており、最上川各支流の源流部など重要な水源地帯に位置しています。また、里山地帯には一定のまとまりを有するスギ人工林が造成されています。

最上地方は県内で最も林業生産活動が盛んな地域であり、国有林に対し、森林資源の安定的な供給が期待されています。

区分	面積 ha	比率%
面積	107,021	
国有林	106,976	100
官行造林地	46	0
うち自然公園	23,724	22
うち保安林	102,909	96
うち保護林等	28,404	27



木材を伐採・搬出

◆ 管理経営の方針

栗駒国定公園をはじめ、最上川県立自然公園、加無山県立自然公園などがあり、豊かな自然環境が保全されているブナ天然林などの森林も多いことから、これらの維持管理に努めていきます。

里山を中心に管内の約1/4がスギ人工林となっており、適切な保育とともに利用段階にあるものは利用を図り、材の安定供給に努めます。

また、森林施業の実施に当たっては、管内に広く生息している希少猛禽類のクマタカなどの生息環境に配慮していきます。

管内国有林は全体として最上川支流の重要な水源地帯となっていることから、水源涵養機能の発揮が図られるよう、森林資源の充実に努めていきます。



柘沢ダム上流の森林



紅葉時期の与蔵沼風景林



スギ人工林

◆機能類型別面積（平成26年4月現在）

（単位：ha）

区分	計	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ
人工林	26,465 (25%)	1,190	122	170
天然林	75,961 (71%)	24,032	10,876	5,241
その他	4,536 (4%)	1,499	1,215	131
計	106,962 (100%)	26,722 (25%)	12,213 (11%)	5,542 (5%)
区分	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ		
人工林	0	24,983		
天然林	0	35,812		
その他	0	1,691		
計	0	62,485 (58%)		

◆資源内容（平成26年4月現在）

（単位：千 m³）

区分	計	針葉樹	広葉樹	資源内容等の特記事項
人工林	5,358 (43%)	5,106	252	
天然林	7,209 (57%)	339	6,870	
その他	1 (0%)	0	1	
計	12,568 (100%)	5,445 (43%)	7,123 (57%)	

◆ 主要事業量（平成26年4月現在）

収穫量	184,658m ³	（主伐 68,978m ³ (37%)、間伐 115,680m ³ (63%)）	
生産量	41,000m ³		
販売量	立木 7,159m ³	製品	41,000m ³
更新面積	28.11ha	（人工造林 28.11 (100%)、天然更新 0 (0%)）	
林道新設量	4,410m		
治山事業量	国有林野内直轄	682 百万円	民有林直轄 1,103 百万円

◆ 収支状況

款・項	科目	26年度（予定）	25年度
官業収入 <small>国有林野事業収入</small>	立木竹売払代（製品売払代含む）	241	234
	分収育林収入	18	28
	林野売払代	5	0
	土石売払代	2	2
	土地等貸付料	20	20
	森林空間総合利用事業収入	0	1
国有財産処分収入 <small>国有財産売払収入</small>	立木竹売払代（官行造林）	1	0
雑収入		0	0
計		287	285

◆ 最上支署管内の見どころ

管内には、最上地域を代表する巨木やスポットなどがたくさんあります。

滝ノ沢の一本杉（真室川町）

かつて地際に大きな「うろ」があり山の神が祀られていましたが、樹勢の回復とともにうろが閉じ、今では祠が幹の中に完全にとじ込まれています。林道終点から見るすることができます。（幹周り11.58m）



めこしき

女 甌山の大カツラ（真室川町）

女甌山の麓のブナ二次林の中にある巨木です。林道終点から歩道があります。（幹周り13.4m）



いわがみだいごんげん

岩神大権現のクロベ（大蔵村）

もともとは稜線部に生えていた木でしたが、地滑りとともに落ち、現在の場所に定着したといわれています。株立ちでは日本一の太さともいわれます。道路脇にあります。（幹周り12.2m）

ごんげん

権現山の大カツラ（最上町）

幹周り日本一と目されているカツラです。歩道はありますが急なので注意が必要です。（幹周り20.2m）



岩神大権現のクロベ



権現山の大カツラ

幻想の森（戸沢村）

全国でも珍しい特異な形をした天然杉「山ノ内スギ」が群生しています。林道終点からすぐのところにあります。



与蔵沼風景林（鮭川村）

周囲をブナ林に囲まれた与蔵沼、モリアオガエルの沼、「まぼろしの滝」といわれる滝群があります。

最上川風景林（戸沢村）

最上峡の右岸にあり、舟下りも楽しめます。

瀬見風景林（最上町）

瀬見温泉付近の最上小国川左岸にあり、広葉樹からなる天然林です。

なたぎり

山刀伐峠風景林（最上町）

松尾芭蕉も歩いた「奥の細道」最大の難所の一つです。

旧街道は地元の人たちにより保全されています。

肘折のブナ林（大蔵村）

開湯1200年の歴史をもつ肘折温泉の奥にあるブナの二次林です。



与蔵沼風景林(春季)



最上川風景林と最上川船下り



芭蕉も歩いた山刀伐峠



肘折のブナ林

かむろ

神室山 (1,365m)

栗駒国立公園内に位置し、みちのくアルプスの主峰で、日本200名山の一つです。東西南北からバラエティーに富んだ多数のルートがあり、神室山系には他にも小又山、火打岳、一杯森などの山々が連なっています。

は

葉山 (1,462m)

頂上付近に神社(葉山神社)が鎮座する信仰の山です。頂上からは月山、鳥海山、御所山、蔵王が一望でき壮観です。また、麓のブナ林のすばらしさも格別です。

かぶ

加無山 (997m)・^{こしき}甑山 (981m)

標高は1,000m以下ですが、急峻で険しい岩山です。

もくぞう

杣蔵山 (1,027m)

新庄市の裏山的存在です。溪谷、お花畑など見どころがたくさんあります。



新緑の杣蔵山

◆地域の安全・安心を守る治山事業

大蔵村の銅山川流域の民有地に大規模な地すべり地帯があり、民有林直轄地すべり防止工事を実施しており、排水トンネル工、集水ボーリング等を立体的に組み合わせ、高度な技術を要する立体排水工により、地すべり活動の最大の誘因である地下水を排除し、地域の安全・安心に貢献しています。

また、管内の国有林においても、治山ダムの溪間工や山腹工を計画的に実行することにより、地域の安全・安心に貢献しています。



銅山川に面した地すべり末端部



排水トンネル工



H25年度国直治山施工地



H25年度民直治山施工地

◆木材供給、地域振興

当支署ではスギ人工林の間伐材がほとんどであり、生産される素材については、一般材にあつては地域内の製材工場を中心に計画的な供給を図るとともに、合板用材、チップ材にあつては県内外の工場へと供給、更に平成23年度からは木質バイオマスボイラー向けにも供給を始めています。

また、地域で原木ナメコが特産品となっており、地域産業の振興に資するためナメコ原木用広葉樹の立木販売も行っています。

◆民有林関係

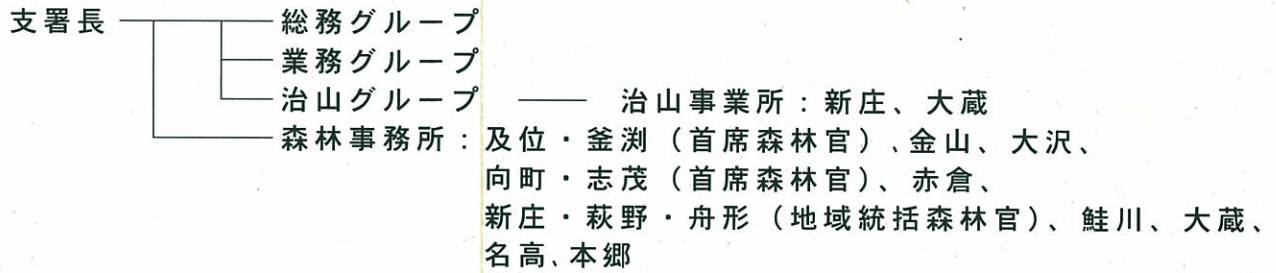
山形県内ではもっとも林業生産活動の盛んな地域であり、特に金山杉は全国にその名を知られています。

また、きのこ類など特用林産物の生産も盛んであるほか、木質バイオマスエネルギー利用の取り組みも見られます。

◆管内の市町村

新庄市、最上郡（金山町、舟形町、真室川町、最上町、大蔵村、鮭川村、戸沢村）の1市3町3村です。

◆支署の組織



〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
電話 (0233) 62-2122 FAX (0233) 62-2706



◆ 管内図



- 国有林
- 官行造林
- 森林管理署・支署
- 森林事務所
- 治山事業所

